

# 健康経営とESG

## 目次

1. 健康経営とは
2. ESG・ESG投資とは
3. 健康経営とESGの関係
4. まとめ



# 健康経営と「ESG」には深い関係性があることをご存知でしょうか？

多くの企業では健康経営の担当部署（人事部／健康保険組合など）とESGの担当部署（広報／IRなど）が異なっているため、健康経営とESGを結び付けて考える方は多くはいらっしゃらないかと思います。

しかし、「健康経営に取り組むことは実は ESGへの貢献に向けた取組にもなっている」ということを本資料ではお伝えします。

## 健康経営とは

## Health management

経済産業省は以下のように定義しています。

分かりやすく言うと、企業の経営目的達成のために、  
企業で働く人たち一人ひとりの健康を大切にしよう。という取組です。



「従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待される」



# ESG・ESG投資とは

## Environment Social Governance

**ESG**とは、

**環境（E：Environment）, 社会（S：Social）, ガバナンス（G：Governance）**

の頭文字を取って作られた言葉です。企業が持続的に成長していくためには、

**ESG**が示す3つの観点が必要だという考え方が世界的な潮流となっています。



そして企業に投資する投資家にとって、投資先企業が持続的に成長することが望ましいことから、従来の財務情報に加えて**非財務情報である ESGの要素も考慮して行う投資活動のことを、ESG投資**と言います。

**ESG投資**の世界的な流れとして、2006年に**国連責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）**が提唱されました。**PRI**は機関投資家のための投資原則で、投資に**ESG**の視点を組み入れることなどが求められています。

世界で**3,844**の機関が**PRI**に署名しており、日本でも年金積立管理運用独立行政法人（**GPIF**）をはじめ、保険会社や資産運用会社など**91**機関が署名しています。

（2021年3月時点）



## <PRIの6原則>

PRI:国連責任投資原則

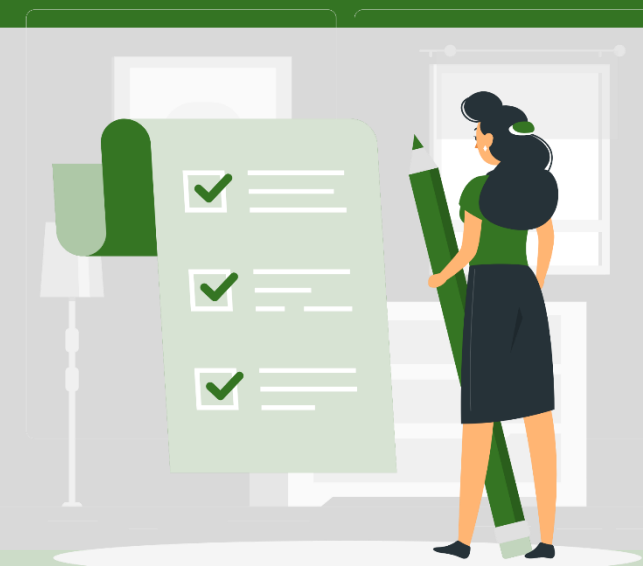
**1**：投資分析と意思決定のプロセスに  
ESG課題を組み込みます



**2**：活動的な所有者となり、所有方針と  
所有習慣にESG問題を組入れます



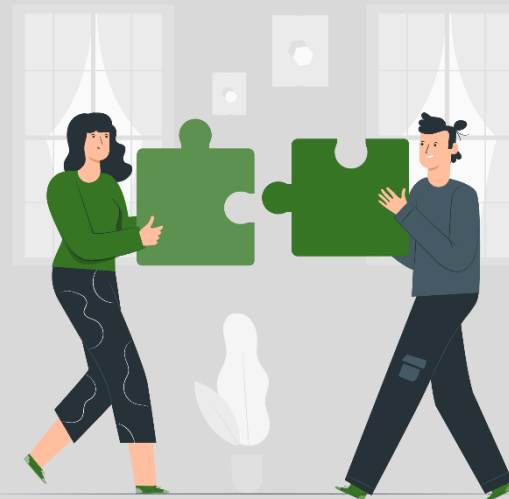
**3**：投資対象の企業に対してESG課題に  
ついての適切な開示を求めます



**4**：資産運用業界において本原則が受け入  
れられ、実行に移されるよう  
働きかけを行います



**5**：本原則を実行する際の効果を高める  
ために、協働します



**6**：本原則の実行に関する活動状況や  
進捗状況に関して報告します



このように多くの投資家が**ESG**を重視するようになったことから、**ESG**の取り組みが不十分だと市場にみなされた企業の株価は、業績のみから期待される株価水準を下回ることになります。特に上場企業は**ESG**に向けた取り組みをきちんと市場に対してアピールできなければ、中長期的な株価低下に繋がりがねません。

# 健康経営とESGの関係

# Environment Social Governance

健康経営は従業員という企業にとって重要なステークホルダーへの健康投資であり、従業員の健康や活力を向上させることを通じて、**ESG**の**S**（社会）や**G**（ガバナンス）に関する取組として位置付けられています。

## Environmentalの要素

気候変動、生物多様性、  
廃棄物による海洋汚染、水資源の不足、など



## Socialの要素

労働問題、人口集中と過疎化、従業員との関係性  
健康と安全、人材のダイバーシティ、など



## Governanceの要素

取締役会の透明性や多様性、従業員や取引先の  
権利保護、法令順守、情報開示、など



健康経営や健康投資に取り組んでいることを投資家などのステークホルダーに適切にアピールすることで、**ESG**への貢献を示すことができ、  
しっかりとした企業評価へと繋がります

**ESG**への意識の高まりは、機関投資家など一部の業界に限った話ではなく、従業員や地域社会など様々なステークホルダーが同様に、企業の**ESG**活動を注視しています。このため、企業は業績だけでなく、自社と環境・社会の繋がりや、自社の企業統治（ガバナンス）の状況を意識した経営を行う必要があります。そして、従業員の健康や活力向上に繋がる**健康経営**は、まさに**ESG**に資する取組みなのです。



健康経営のご担当者様は自社の健康経営が**ESG**の観点でもステークホルダーから注目されていること、そして**ESG**のご担当者様はステークホルダーの関心事項に健康経営が応えられることを意識して、社内連携を深めてみてはいかがでしょうか。

弊社がご提供する**FairWork survey**では、**ESG**における「**S：社会**」にフォーカスし、「**就業状態**」「**健康と安全**」や「**従業員との関係性**」に関する各種サーベイを取り揃えております。どうぞお気軽にお問い合わせください。

【弊社HP】

